

一般消費者への啓発でエシカル消費の意識向上 使用済容器の再資源化と課外授業の実施

株式会社折兼

取組の内容

①教育分野

2021年より全国の小学校～高校を対象に課外授業を実施しており、名古屋市内の学校でも実施しております。各学校、年齢に合わせたテーマで課外授業を実施しており、実際に容器を触っていただくワークショップも実施。

また、名古屋市内中学生の自由研究についてインタビュー対応し、自由研究作品として**2年連続でバガス新聞を作成いただいています。**



②バガスフードサイクリング

使用済バガス容器を分別回収して堆肥化して野菜を育てる活動を実施。安全性に関するエビデンスを取得することで、**イベントでの実績を増やしており、一般消費者も巻き込んで体験いただいております。**名古屋市内では、手羽先サミット®2022や、2024年にはバスケットボールチームの名古屋ダイヤモンドドルフィンズ様と共同実施いたしました。



取組の背景（動機・課題）

弊社社長が船釣りへ出かけた際、沖合で一番最初に釣れたのがレジ袋であった経験より、**食品包装資材を扱う企業として環境問題に取り組むことは責務であると考え**、環境問題に対する取り組みに注力するようになりました。しかし、環境への取り組みに注力することがコストアップに繋がってしまう現状より、なかなか社会全体で受け入れてもらい難い状況に直面しました。そこで、**まず一般消費者の環境問題やエシカル消費の意識を高めることが大切**であると考え、啓発活動の取り組みに注力するようになりました。現在は名古屋市内を中心に小学校から高校における課外授業を実施したり、地域スポーツチーム、イベントと連携してバガス容器を用いた啓発活動を実施しています。

取組の成果・展望

★課外授業

・2024年11月時点で、名古屋市内と私立問わず、名古屋市内の小学校、中学校、高校**累計で27件**の課外授業を実施。ある中学生には自由研究でバガス新聞を2年連続で作成いただいております。

★バガスフードサイクリング

- ・手羽先サミット®2022…会場内で発生した容器と手羽先の骨を堆肥化し、「有機フレン土」としてキャンプイベントで配布。
- ・名古屋ダイヤモンドドルフィンズ様…分解実験でできた堆肥を活用して野菜栽培していただき、来シーズンの選手弁当で収穫野菜を使用予定。

関連するゴール

